

令和3年度

# 学校評価調査 実施報告書



福島県立会津工業高等学校 学校評価委員会

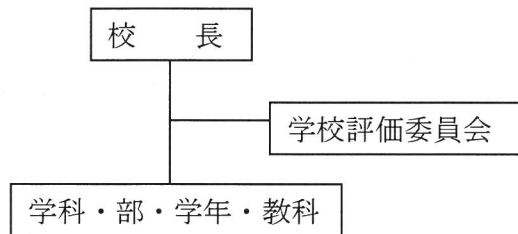
I 自己評価の概要

1 『学校経営・運営ビジョンについて』

「教育目標」と「我等の信条」が本校の『学校経営・運営ビジョン』の根幹となっている。これを実現するために4つの努力目標を設定し、さらに努力目標の実現のための具体的な下位目標を設定している。

前年度の分掌ごとの反省や学校全体として取り組むべき課題をもとに、年度初めに校長により『学校経営・運営ビジョン』が示される。

2 校内組織体制について



各学科・各部・各学年・各教科等の実践を組織横断的に評価するために、校務分掌組織とは別に学校評価委員会が組織されている。

3 自己評価年間計画について

月	学校評価委員会の活動	学校評議員の活動
4月	校長より「学校経営・運営ビジョン」提示	
5月		
6月		第1回学校評議員会
7月		
8月		
9月		
10月	第1回学校評価委員会 調査内容の検討・回収方法など	第2回学校評議員会
11月	学校評価調査の実施	
12月	調査用紙の集計・データ分析	
1月	委員による事前分析 第2回学校評価委員会 学校評価のまとめ 「自己評価実施報告書の作成」 調査結果を反映した学校運営の提言	第3回学校評議員会
2月	結果の公表(H P 掲載)	
3月		

## II 調査の概要

### 1 実施時期、実施方法

生徒・保護者・教員（共通）

11月30日配布 12月13日〆切・記名・選択方式

- ・回収や集計作業の効率化を図るために、Microsoft Forms を活用し、ウェブ上での調査とした。
- ・今年度も昨年度同様に評価は1回のみ、11月下旬に実施。
- ・調査は生徒、保護者、教員を対象に、それぞれの設問数16、16、15として調査をした。設問の内容については、ビジョンに示される項目を評価する設問を12問、学校全般を評価する内容を生徒、保護者は4問、教員は3問、調査した。
- ・インターネット環境がない生徒、保護者については、用紙を配布、回収し調査を行った。

### 2 調査の回答数

対象	R3年度の調査			R2年度の調査			R元年度のアンケート		
	対象数	回答数	割合	対象数	回答数	割合	対象数	回答数	割合
生徒	659	659	100%	701	701	100%	703	692	98.4%
保護者	659	447	67.8%	701	626	89.3%	703	621	88.3%
教職員	69	69	100%	72	72	100%	72	72	100%

- ・生徒、教職員は100%を達成。保護者は、21.5ポイント減の67.8%であった。
- ・[来年度に向けて]保護者からの回答割合が大きく減少している。「学校からの配布物」が保護者に渡っている割合が78.5%である。今年度は調査開始日と最終日の2回、一斉メールを送ったが、本調査に回答された保護者の中で一斉メールに登録していた割合は98.9%であり、一斉メールに登録していない保護者に確実に情報提供を行う方法を考えなければならない。

### 3 評価基準について

- ・それぞれの項目の達成度を1～4の評価基準で回答を求めた。4段階評定としたのは、中間回答（どちらでもない）の層を、肯定的評価または否定的評価のいずれかに振り分けるためである。
- ・回答4と3の合計を肯定的評価、2と1の合計を否定的評価に分けて、調査結果を評価考察した。

※ 一斉メール登録の有無に関しては、「はい・いいえ」の二択とした。

※ 自由記述を設け、課題の「見える化」をはかった。

#### 4 調査による評価のまとめ

##### 調査結果の分析

##### 努力目標（1）「学習意欲の育成」に関して

《データ》 ※（ ）は昨年のパーセンテージ

○生徒調査の各設問と肯定的評価の割合は以下の通りである。

- |  |               |
|--|---------------|
| 1 本校では、ものづくりをとおして、知識、技術・技能を修得できると思いますか | 97.0% (97.6%) |
| 2 授業方法はわかりやすく工夫されていると思いますか             | 90.6% (88.4%) |
| 3 科目の評価のしかたについて知っていますか                 | 82.9% (83.4%) |

○保護者調査の各設問と肯定的評価の割合は以下の通りである。

- |   |               |
|---|---------------|
| 1 本校では、ものづくりをとおして、知識、技術・技能を修得できると思いますか        | 96.4% (96.6%) |
| 2 授業の参観や、お子さまの話から、本校の授業はわかりやすく展開されていると思われませんか | 85.7% (77.9%) |
| 3 お子さまが学習している科目の評価のしかたについてご存じですか              | 45.9% (53.8%) |

○教員調査の各設問と肯定的評価の割合は以下の通りである。

- |  |               |
|--|---------------|
| 1 本校ではものづくりをとおした知識、技術・技能が修得できる体験型の学習の充実を図ることができていますか | 94.2% (100%)  |
| 2 わかりやすい授業をするために、授業の工夫を行っていますか                       | 97.1% (98.6%) |
| 3 学ぶ意欲を引き出す評価の工夫・充実を図っていますか                          | 87.0% (95.8%) |

《考察》

努力目標（1）「学習意欲の育成」に関しては、昨年同様いずれも高い評価が得られている。

設問1の「ものづくりをとおして知識、技術・技能を修得できる」とした回答は、生徒・保護者で97%程度の特により高い評価を得ている。教員の評価も高評価であるが昨年度よりは低下している。

設問2の「授業方法の工夫について」は、昨年度と比較して、生徒2.2ポイントの増、保護者7.8ポイントの増であった。ICT活用により家庭学習を習慣化させることで、生徒の授業への理解を深めさせたい。教員の1.5ポイント減は、常に生徒の実態に合わせた授業の工夫が求められる中、ICT活用の変換期とも重なり、多種業務を行いながら対応しているためと思われる。

設問3の「科目の評価方法を知っているか」は、昨年より生徒0.5ポイントの減、保護者7.9ポイントの減とともに減少した。最初の授業でシラバスを説明する際に評価方法も説明することとなっている。次年度からは、観点別評価についてもより丁寧に説明する必要がある。教員の「学ぶ意欲を引き出す評価の工夫・充実を図っていますか」では8.8ポイント減少している。生徒の成長につながる評価ができよう教職員研修会等を実施していきたい。観点別に生徒の到達度を見ることで、授業への積極的参加や学習意欲の向上につながる要因になると考えられる。

努力目標（２）「職業観の育成」に関して  
 《データ》 ※（ ）は今年のパーセンテージ

○生徒調査の各設問と肯定的評価の割合は以下の通りである。

- |   |   |               |
|---|---|---------------|
| 4 | 企業見学・各種講習会・講演会・進学課外などをとおして、自分の進路を考えるようになりましたか | 90.0% (85.9%) |
| 5 | インターンシップ（職場体験）などは、将来の職業を考える上で有益だと思えますか。       | 93.0% (93.8%) |
| 6 | 講習会や課外指導に参加するなど、資格取得や検定合格のための努力をしていますか        | 83.0% (79.7%) |

○保護者調査の各設問と肯定的評価の割合は以下の通りである。

- |   |  |               |
|---|--|---------------|
| 4 | 企業見学・各種講習会・講演会・進学課外などをとおして、進路意識を啓発するための指導が行われていると思えますか | 90.2% (86.1%) |
| 5 | インターンシップ（職場体験）などは、お子さまが進路実現を図る上で有益だと思えますか              | 96.0% (96.6%) |
| 6 | お子さまは、資格取得や検定合格のために、講習会や課外指導に参加するなどの努力をしていますか          | 70.9% (76.4%) |

○教員調査の各設問と肯定的評価の割合は以下の通りである。

- |   |   |               |
|---|---|---------------|
| 4 | 企業見学・各種講習会・講演会・進学課外などをとおして、進路意識の早期啓発を促すことができていると思えますか | 91.3% (95.8%) |
| 5 | インターンシップなどをとおして、生徒のキャリア教育の充実を図ることができていると思えますか         | 85.5% (75.0%) |
| 6 | 各種資格検定合格のための支援体制は十分だと思えますか                            | 89.9% (91.7%) |

《考察》

努力目標（２）「職業観の育成」に関しても、概ね高い評価であった。

設問４の生徒の「自分の進路を考える様になったか」は、4.1ポイント増の90.0%、保護者は4.1ポイント増の90.2%、教員は4.5ポイント減の91.3%であった。感染症対策を講じながら、企業見学等ができるようになり生徒の意識が高まったと考えられる。

設問５の「インターンシップなど」は、生徒・保護者とも高い評価で、インターンシップの効果が認められている。コロナ禍の影響により、受入れていただける企業が例年よりも少なかったため、縮小して就職希望者のみ実施し、進学希望者等は進学に向けてのガイダンスや授業を実施した。

設問６の「資格検定への努力や支援体制について」は、生徒・保護者は他の設問より評価が低くなっている。また、肯定的回答のなかでも『特にそう思う』（生徒32.5%、保護者20.8%、教員18.8%）より『少しそう思う』（生徒50.5%、保護者50.1%、教員71.0%）が多くなっている。教員でその割合が高く、教員は特に資格への支援体制が十分ではないと感じていると思われる。放課後の補習は、部活動との両立が難しい場合も多いが、ICTを活用して家庭学習を充実させる等、生徒の意欲向上を導き実効性のある指導体制を築く必要がある。

努力目標(3)「社会性の育成」に関して  
 《データ》 ※ ( ) は去年のパーセンテージ

○生徒調査の各設問と肯定的評価の割合は以下の通りである。

7 自律した生活を送り、校則や社会のマナー・ルールを守っていますか	95.9% (96.3%)
8 環境美化や省エネを心がけていますか	85.0% (88.3%)
9 部活動に積極的に参加していますか	81.5% (81.7%)

○保護者調査の各設問と肯定的評価の割合は以下の通りである。

7 お子さまは、基本的な生活習慣が確立され、校則や社会のマナー・ルールを守っていると思いますか	90.4% (92.5%)
8 お子さまは環境美化や省エネに心がけていますか	57.5% (69.0%)
9 お子さまは部活動に積極的に参加していますか	72.3% (78.0%)

○教員調査の各設問と肯定的評価の割合は以下の通りである。

7 HR、服装頭髪指導、登校指導、部活動をとおして、社会性・規範意識や基本的な生活習慣を身につけさせる指導に力を入れていますか	81.2% (94.4%)
8 校内美化、省エネの推進、実習での服装指導などとおして、環境と安全に対する意識を高める指導に力を入れていますか	85.5% (88.9%)
9 生徒が部活動を通して社会性を身につけ、自己実現を図ることができるように配慮していますか	84.1% (94.4%)

《考察》

努力目標(3)「社会性の育成」に関しても、全体としては高い評価であった。

設問7の「社会のマナーやルール」への肯定的評価は、生徒が95.9%、保護者90.4%、教員81.2%とかなり高いが、詳しく見ると『特にそう思う』は、生徒が48.3%と高いのに対して保護者は23.9%、教員は10.1%と共に低く、生徒の意識だけが低いことがわかる。生徒の規範意識について自らの進路に関連することも含めて考えさせ、それぞれが共通理解を持って取り組むことが重要と思われる。

設問8の「環境美化・安全・省エネ意識」は生徒が3.3ポイント減、保護者が11.5ポイント減、教員が3.4ポイント減となっている。今年度も、生徒会が中心となって福島議定書による省エネに参加しており、SDGsの取組の一環であることも含め全体で意識を高めていきたい。

設問9の「部活動の積極的参加」については、生徒が81.5%、保護者が72.3%、教員84.1%と、昨年度より低下しているが、資格取得の勉強、遠距離通学などで部活動に積極的に参加出来ない生徒も含まれることを考えると、生徒の多くが部活動に積極的に取り組んでいる様子がうかがえる。働き方改革や教職員の多忙化解消等を理解していただきながら生徒・保護者・教員が連携して活動することにより、本校の努力目標である「部活動をとおし社会性を身につけ自己実現を図る」が達成できると考えられる。

努力目標（４）「地域との連携推進」に関して  
 《データ》 ※（ ）は今年のパーセンテージ

○生徒調査の各設問と肯定的評価の割合は以下の通りである。

10	学校からの配布物をきちんと家族に渡していますか	79.7% (84.4%)
11	地元企業との連携をいかした取り組みなどは、役に立つと思いますか	94.4% (92.0%)
12	本校の教育活動は、地域の方々に広く知られていると思いますか	82.2% (81.0%)

○保護者調査の各設問と肯定的評価の割合は以下の通りである。

10	学校からの配布物、ホームページ、一斉メール、PTAの各種会合などによって、知りたい情報を得ることができていますか	78.5% (80.8%)
11	本校が地元企業との連携をいかした取り組みなどを行っていると思いますか	85.2% (82.1%)
12	本校の教育活動・学校運営の状況は、授業参観や研究発表、学校評価などによって、地域の方々に広く知らされていると思いますか	71.8% (70.0%)

○教員調査の各設問と肯定的評価の割合は以下の通りである。

10	学校からの情報はHPや配布物、各種会合などをとおして有効に発信されていると思いますか	87.0% (88.9%)
11	「地域産業連携事業」など外部事業に関わる校内の協力体制は整っていると思いますか	85.5% (93.0%)
12	本校の教育活動・学校運営の状況は、授業参観や研究発表、学校評価などによって、地域・保護者に適切に発信されていると思いますか	79.7% (83.1%)

《考察》

努力目標４「地域との連携推進」については、コロナ禍の影響により低評価も予想されたが各設問とも概ね肯定的評価だった。

設問10の、生徒の「学校からの配布物をきちんと家族に渡していますか」は79.7%で、保護者も78.5%と同程度の回答となっている。配布物を届けていない生徒が20.3%いるようである。生徒へは配布物の手渡しの徹底の呼びかけと、保護者への学校全体に関する配布物については一斉メールでの呼びかけ等も検討したい。また、ホームページや会合を通じてどの様な情報が得られるか等の説明も必要と思われる。

設問11の「産学官連携の推進」の状況を問う設問は、生徒、保護者、教員で85%を超える高評価になっているが、コロナ禍以前と比べると様々な取り組みが制限されているため、教員が7.5ポイント低下しているもの考えられる。

設問12の「学校運営や教育活動の公開」についての状況を問う設問では、肯定的評価は昨年度に比べ生徒1.2ポイント、保護者が1.8ポイント上昇している。情報処理部でホームページの構成を見直し、行事等担当者や各学科でトピックスを更新している成果だと思われる。コロナ禍において各行事の減少や制限がありホームページを閲覧する機会が増えていることを考えると今後も情報発信の取り組みを充実させていく必要がある。

(5) 「学校全般について」に関して  
《データ》 ※ ( ) は去年のパーセンテージ

○生徒調査の各設問と肯定的評価の割合は以下の通りである。

13 本校では教育相談部やスクールカウンセラーが生徒や保護者の相談活動を行っていることを知っていますか	86.2% (88.0%)
14 学校行事に積極的に参加していますか	93.9% (94.3%)
15 一斉メールに登録していますか	83.6% (87.2%)
16 本校に入学して良かったと思いますか	92.6% (90.4%)

○保護者調査の各設問と肯定的評価の割合は以下の通りである。

13 本校の教育相談部やスクールカウンセラーを生徒や保護者が利用できることをしていますか	53.9% (66.9%)
14 保護者としてPTA活動などの学校の行事に参加されていますか	32.4% (37.1%)
15 一斉メールに登録していますか	98.9% (94.2%)
16 お子さまを本校に入学させて良かったと思いますか	98.0% (97.8%)

○教員調査の各設問と肯定的評価の割合は以下の通りである。

13 全教職員の共通理解のもとで生徒指導には取り組んでいると思いますか	55.1% (77.8%)
14 日頃、生徒と向き合う時間は十分確保できていると思いますか	58.0% (70.8%)
15 校務分掌はバランスよく仕事が割り振られていると思いますか	47.8% (59.7%)

《考察》

「学校全般について」の調査は、生徒・保護者と教員との設問の内容に関連性はない。

「教育相談、スクールカウンセラー」は、生徒は86.2%と認知度されているのに対し、保護者は53.9%であった。また、3年の保護者は65%を超えているのに対し、1・2年の保護者は50%以下にとどまっている。コロナ禍により来校機会が減少し、情報が伝わりにくかったためとも思われる。

「PTA活動」「一斉メール」の設問では、保護者のPTA活動への参加は32.4%で、かなり低くなっている。保護者の働く環境や働き方改革により会議時間を早めたことなどから参加できなかったことも考えられるが、働き方改革を理解していただきながら、学校側から工夫を凝らした呼びかけが必要であろう。保護者の一斉メールへの登録は98.9%と4.7ポイント上昇しているが、今回、回答していない保護者への呼びかけが課題と捉えている。

「入学して良かった」は生徒、保護者とも非常に高い評価をしており、本校のものづくりを中心とした各教育活動に期待していただいている結果と受け止めたい。

教員対象の設問も評価は低い。

「生徒指導」に関しては、55.1%である。生徒指導は教育活動の根幹であり、全教職員が共通理解を持って取り組むべきことであるので、再度、確認しながら指導していくことが必要である。

「生徒と向き合う時間の確保」は58.0%で、働き方改革も叫ばれる中で、学習指導や生徒指導に加えコロナ対応やICTの導入期により教員の負担が増したためと思われる。

「校務分掌のバランス」については47.8%である。教職員の多忙化解消は今後の課題となっており、校務運営委員会等を活用し各部の意見を取り入れながら、適切な職場環境となるよう取り組む必要がある。



### Ⅲ 広報の概要

調査結果については、全教職員に配布。来年度の取り組みへの参考資料にするとともに、HPに掲載。また、保護者には、文書や一斉メールを利用して、このことを周知する。

### Ⅳ 次年度へ向けて

本年度は、コロナ禍の影響もあったが、生徒・保護者及び教職員等が協力し、感染症対策を講じながら企業説明会・修学旅行・会工祭・スポーツ大会等の学校行事や生徒会行事を実施することができた。感染状況を確認しながら直前まで開催の決定が危ぶまれたこともあり、例年どおり準備期間がとれなかったことや常に代替案も準備する等の負担は大きかったが、生徒にとっては、多様な他者と協働し人間関係をよりよく形成する機会となり、高校生活での貴重な経験となった。

次年度に向けて、行事や業務の精選を行い、余裕を持った行事計画の中でコロナ禍での対応やICTの活用、観点別学習評価等を注視しながら、「ものづくり」教育をとおして学校経営・運営ビジョンの達成に向けて取り組む必要がある。

本校の教育活動が生徒・保護者の期待に応じて成果をあげていると判断できる項目も多く、更に実りのある教育活動をするために、次年度に向けて改善・改革の道を継続して進めていき、本調査で見えてきた課題に対して、各部の意見を取り入れながら、何に重点を置くのか方針を定め手立てを明確にすることでより良い学校運営が期待できる。

# 学校評価調査集計結果(生徒)

回答率 100%

回答数/在籍数=659/659

No	設 問	肯定的 評価(%)	割 合										肯定的評価%		否定的評価%	
			10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%				
1	本校では、ものづくりをとおして、知識、技術・技能を修得できると思いますか	97.0%											51.4%	45.5%	2.3%	0.8%
2	授業方法はわかりやすく工夫されていると思いますか	90.6%											29.7%	60.8%	8.2%	1.2%
3	科目の評価のしかたについて知っていますか	82.9%											30.2%	52.7%	15.5%	1.7%
4	企業見学・各種講習会・講演会・進学課外などをとおして、自分の進路を考慮ようになりましたか	90.0%											36.4%	53.6%	8.2%	1.8%
5	インターンシップ(職場体験)などは、将来の職業を考える上で有益だと思いますか	93.0%											49.6%	43.4%	4.4%	2.6%
6	講習会や課外指導に参加するなど、資格取得や検定合格のための努力をしていますか	83.0%											32.5%	50.5%	15.0%	2.0%
7	自律した生活を送り、校則や社会のマナー・ルールを守っていますか	95.9%											48.3%	47.6%	3.3%	0.8%
8	環境美化や省エネを心がけていますか	85.0%											29.7%	55.2%	13.5%	1.5%
9	部活動に積極的に参加していますか	81.5%											48.6%	32.9%	11.7%	6.8%
10	学校からの配布物をきちんと家族に渡していますか	79.7%											31.7%	48.0%	17.3%	3.0%
11	地元企業との連携をいかした取り組みなどは、役に立つと思いますか	94.4%											38.2%	56.1%	4.4%	1.2%
12	本校の教育活動は、地域の方々に広く知られていると思いますか	82.2%											28.5%	53.7%	15.5%	2.3%
13	本校では教育相談部やスクールカウンセラーが生徒や保護者の相談活動を行っていることを知っていますか	86.2%											38.1%	48.1%	11.2%	2.6%
14	学校行事に積極的に参加していますか	93.9%											49.9%	44.0%	4.6%	1.5%
15	一斉メールに登録していますか	83.6%											83.6%		16.4%	
16	本校に入学して良かったと思いますか	92.6%											44.9%	47.6%	5.2%	2.3%



# 学校評価調査集計結果(教職員)

回答率 100%

回答数/在職数=69/69

No	設 問	肯定的 評価(%)	割 合										肯定的評価%		否定的評価%	
			10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%				
1	本校はものづくりをおとした知識・技術・技能が修得できる体験型の学習の充実を図ることができていますか	94.2%											21.7%	72.5%	5.8%	0.0%
2	わかりやすい授業をするために、授業の工夫を行っていますか	97.1%											14.5%	82.6%	2.9%	0.0%
3	学ぶ意欲を引き出す評価の工夫・充実を図っていますか	87.0%											5.8%	81.2%	13.0%	0.0%
4	企業見学・各種講習会・講演会・進学課外などをおして、進路意識の早期啓発を促すことができていると思いますか	91.3%											15.9%	75.4%	8.7%	0.0%
5	インターンシップなどをおして、生徒のキャリア教育の充実を図ることができていると思いますか	85.5%											15.9%	69.6%	11.6%	2.9%
6	各種資格検定合格のための支援体制は十分だと思いますか	89.9%											18.8%	71.0%	8.7%	1.4%
7	HR、服装頭髪指導、登校指導、部活動をおして、社会性・規範意識や基本的な生活習慣を身につけさせる指導に力を入れていますか	81.2%											10.1%	71.0%	17.4%	1.4%
8	校内美化、省エネの推進、実習での服装指導などをおして、環境と安全に対する意識を高める指導に力を入れていますか	85.5%											11.6%	73.9%	14.5%	0.0%
9	生徒が部活動を通して社会性を身につけ、自己実現を図ることができるように配慮していますか	84.1%											11.6%	72.5%	13.0%	2.9%
10	学校からの情報はHPや配布物、各種会合などをおして有効に発信されていると思いますか	87.0%											13.0%	73.9%	13.0%	0.0%
11	「地域産業連携事業」など外部事業に関わる校内の協力体制は整っていると思いますか	85.5%											13.0%	72.5%	13.0%	1.4%
12	本校の教育活動・学校運営の状況は、授業参観や研究発表、学校評価などによって、地域・保護者に適切に発信されていると思いますか	79.7%											7.2%	72.5%	20.3%	0.0%
13	全教職員の共通理解のもとで生徒指導には取り組んでいると思いますか	55.1%											2.9%	52.2%	42.0%	2.9%
14	日頃、生徒と向き合う時間は十分確保できていると思いますか	58.0%											1.4%	56.5%	39.1%	2.9%
15	校務分掌はバランスよく仕事が割り振られていると思いますか	47.8%											1.4%	46.4%	44.9%	7.2%